

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リハビリ児童デイサービス はっぴークローバー2		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 2日		～ 令和 8年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 2日		～ 令和 8年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 25日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	室内や屋外、年齢等に関わらず多彩なプログラムを通して、将来への自立に向けた支援を実施している。	各職員がそれぞれ持っている強みを活かし、調理実習や運動プログラム、創作活動等それぞれ段階的にレベルを上げたプログラムを実施することで、子どもたちの成長を促すとともに満足度の向上に繋がっている。	今後も継続して取り組んでいきます。
2	集団を活かした活動を実施している。	個別機能訓練等の個別プログラムに加え、集団で取り組む活動の機会を意識して確保しており、友達と取り組むことで普段経験できないことに挑戦、経験したり、持っている力をより引き出せる環境を整えている。	今後も継続して取り組んでいきます。
3	保護者とのこまめな連絡体制を確保している。	帰宅後の夜間や休日などに、困りごとや気になったことなどをすぐ連絡できる環境を24時間体制で整えており、ご利用日以外も早めに対応が出来るようにしている。	今後も継続して取り組んでいきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母会等を実施していない。	家庭ごとの個々での相談を充実させている為、他の方と交流のある父母会という形を希望される方が少なく、実施には至っていない。	プライバシーの観点から希望されない方もいるため、希望されている方のみで実施していくか、事業所での検討を行っていく。
2	地域の子どもたちとの交流が少ない。	交流する場所や時間帯の都合がなかなか合わず、交流の機会としてはほとんどなかった。	事業所のイベントに地域の子どもを招待する等の方法を検討していく。 また事業所同士での関わる機会も増やしていき、より関われる相手が増えるようにしていく。
3			